

# 本年度の主な施策概要

未来創生10ビジョンの実現  
～市民総力で コロナ禍の克服、改革発展を～

## 1 総合戦略の展開

未来創造ビジョン 地方創生ビジョン

- 人口減少を緩和するための定住促進事業を実施
- 子育て世帯に対する支援策を実施
- 久見崎みらいゾーンにおいて循環経済を核としたまちづくりを推進



## 2 新型コロナウイルス感染症への対応

未来創造ビジョン 地方創生ビジョン

- 感染症による影響を受けた事業者支援や地域経済対策を実施
- 保育所などの新型コロナウイルス感染拡大防止事業への支援
- 障害福祉・介護サービス継続のための相互協力体制の構築



## 3 健康づくり・社会福祉の充実

地方創生ビジョン

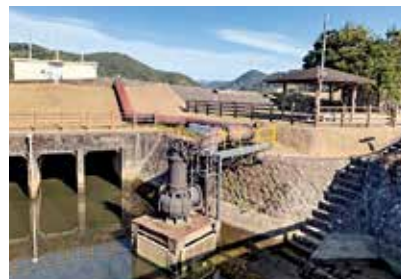
- 産後ケア事業の拡充
- 子どもの特性や発達段階に応じた関わり方の助言を行うための専門員を配置
- 国保保健事業や介護保険制度の地域支援事業などを一体的に実施



## 4 市民の安全・安心を守る基盤整備

未来創造ビジョン 地方創生ビジョン

- 集中豪雨などにより発生する浸水被害などを軽減するための事業を実施
- 老朽化した橋梁などの維持補修、改築などを実施
- 消防通信指令センターの共同化に向けた事業の実施



## 5 地域経済の活性化

未来創造ビジョン

- 新規就農者育成拠点施設整備事業の実施
- 川内駅コンベンションパークを核としたにぎわい創出事業の実施
- 東京オリンピック参加チームの事前合宿の受入実施



### 本市をめぐる最近の動き

1月22日、急速な新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、県内の医療提供体制がひっ迫する恐れがあったことから、県は「感染拡大警報」を発令し、感染状況の段階をステージⅢに引き上げました。また、本市を含む県内5市の飲食店に対し、営業時間の短縮の要請もなされました。



## 令和3年第2回市議会定例会 施政方針の概要

令和3年2月24日開会の第2回市議会定例会において、田中良二市長が述べた市政に関する考え方や方針の概要を紹介いたします。なお、全文は市ホームページ上でも紹介しています。

され、15日には、感染状況の段階がステージⅡに引き下げられました。今なお予断を許さない状況にあります。

市民の皆さまにおかれましては、引き続き、緩むことなく、基本的な感染防止対策を徹底していただきますようお願いいたします。

他方、市においては、1月15日、新型コロナウイルスワクチン接種に向けた準備を進めるため、庁内に「新型コロナウイルスワクチン接種準備プロジェクトチーム」を設置し、さらに、2月9日には、ワクチン接種を推進するための方策を官民一体となって審議するため、川内市医師会、薩摩郡医師会、川薩保健所などの関係団体から成る「薩摩川内市新型コロナウイルスワクチン接種調整会議」を設置いたしました。

多くの市民を対象として一斉にワクチン接種を行う過去に類例のないプロジェクトであり、さまざまな課題が想定されます。この調整会議を中心に、関係機関と緊密に連携しながら、市内でのワクチン接種が円滑に行われるよう、全力を傾注する考えであります。

### 本年度の施策概要

第204回通常国会の施政方針演説において、菅義偉内閣総理大臣は、①新型コロナウイルス対策、②東日本大震災からの復興、災害対策、③わが国の長年の課題に答えを、④地方への人の流れをつくる、⑤少子化対策と社会保障の将来、⑥外交・安全保障の6本柱で政策を推進するとし、特に、防災・減災、国土強靱化の推進、グリーン成長戦略の実現、国全体のデジタル化、農林水産業の振興、観光立国および東京一極集中の是正などを進めるとともに、結婚や出産、子育てを希望する方々の声に丁寧に耳を傾け、ひとつひとつの望みを実現すると述べられています。

本市においても、新型コロナウイルス感染症への対応はもとより、人口減少、少子高齢化への対応は喫緊の課題です。引き続き、移住・定住の促進や少子化対策を積極的に推進するとともに、コロナ禍の収束などの社会状況を的確に見極めながら、「コロナ復興」を掲げ、地域経済の再生に官民一体となって取り組む必要があります。

- このような認識の下、本市の令和3年度の主要施策につきましては、新たな行政課題に適切に対応していくとともに、選択と集中により、以下の施策などの推進を図ります。
- ① 新型コロナウイルス感染症への対応
  - ② 少子化対策・子育て支援
  - ③ 人口減少対策
  - ④ 農林水産業の振興
  - ⑤ 経済産業、観光・スポーツの振興
  - ⑥ 防災・減災・国土強靱化
  - ⑦ 消防行政
  - ⑧ 教育振興
- なお、私は市長就任時から、市の最も大きな役割は「将来ビジョンの実現」と「市民サービスの向上」であること、市民の皆さまに寄り添い、その声に真摯に耳を傾けて対話をする広聴の実践こそが「薩摩川内の未来創生」の実現に向け、何より重要であると申し上げてまいりました。

### 予算の大綱

国におきましては、国民の命と暮らしを守るため、感染症拡大防止と社会経済活動の両立を図り、骨太方針2020に掲げられている主な施策項目およびそれを具体化する成長戦略の実行計画を踏まえ、ポストコロナの新しい社会を作っていくとしております。

本市におきましても、令和3年度当初予算案においては、総合戦略の推進、未来創生10ビジョンの実現、新型コロナウイルス感染症への対応など国の3次補正に留意しつつ、「健全で持続可能な活力創出予算」を編成したところであります。

これらの結果、一般会計当初予算の規模は、前年度当初予算に比べ、2.8パーセント減の526億7千万円、温泉給湯事業など9つの特別会計は、合計で258億9508万円となりました。

### 結び

最後に、本年度も各種施策を展開・推進するに当たり、市民の皆さまのより一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。